# はるっこだより

病児保育所 はるっこ
2019 冬号 2019. 1. 15

七飯町 本町 6-7-42
はるこどもクリニック隣 はるっこ☎ 0138-65-1500

まだまだ寒い日が続いていますが、気が付くと、少しずつ陽が長くなり、一日一日と春が近づいているのを感じます。
たくさん遊んで、たくさん笑おうね！ はるっこ今年もどうぞよろしくお願いします

せいこ

## はるっこある日のスナップ

――はるっこの日常のひとこまをお伝えします――

保育士が描いたこの赤ちゃんの絵をみて
2歳Aくん「なにか歌ってる。音楽会じゃない？」

4歳Bくん 遊びながら
「暗くなってきたね」
保育士「雲がお陽様隠したんだね」
Bくん「これはね、かくれんぼ」

4歳Cくんは、お昼寝の時間になっても遊び続けています。
「ねない。だって オレ仕事だから」
遊びは大事な仕事！お昼寝どころじゃないらしい。

6歳Dくん
お弁当を食べながら
「大きくなったらパパのようなビジネスマンになりたい！
パパは宝物♪」

6歳Eちゃんは2年ぶりのはるっこ利用。
それでも昨日の続きのように、前回もしたレストランごっこから一日が始まりました。
Eちゃんの中では2年前と今日がはるっこでつながっているんだね♪

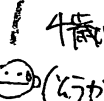
4歳Fくんはいつも笑っています。
保育士は聞きました。
「Fくんのパパとママ、いつも笑ってるでしょ」
「うん。」
普通に答えた「うん」ですが、とても幸せな意味の「うん」に聴こえました。

熱が高い2歳Hちゃん。
ままごとの包丁で切った野菜が飛んでいって箱に入る度に
ケラケラ笑います。
こんなに熱があっても
「おもしろい♪」と感じて笑う力がすごいなあ。

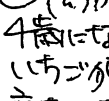
3歳になったIちゃんは増々お話が楽しい。
ままごとで保育士が「おかあさーん」と呼ぶと、
「お姉ちゃんでしょ」
そして、今日も絵本の読みきかせをしてくれました。
自分で覚えている内容を、自分の言葉でお話してくれます。
『きんぎょがにげた』の本は、
「きんぎょが逃げだした とさ。おしまい」

「だっこ」
4歳Gくんは
今日は抱っこしてほしいと教えてくれました。
「抱っこしてほしい」と伝えられる力はすてきだね。

「いちごある？」
（6月にはるっこ畑でいちご狩りをしました）
保育士「今はないよ」
「えっ！だって J、4歳になったよ」
（そうか。あの時、私、4歳になったらまたいちご狩りしようね、と言ったんだ！）
何とか説明しようとすると
Jくん「ご流しそうめんのとき？」
「そう！そう！」



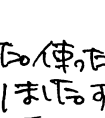
Jくんにとって初夏は
ご流しそうめんの季節なんだね♪
毎日が楽しい想いで満ちているのが伝わってきました。



2歳Kくんが手を洗う時に使う踏み台を保育士が「はいどうぞ」と用意しました。するとKくんは「ありがとう」と言ってから台に上りました。
6歳Lくんは保育士に歯の磨き方を教えてくれました。使ったコップを本の箱にしまおうとしていたので、保育士がコップと水滴を拭き取りました。するとLくんは「そんなとこまでありがとさん」
小さなことにも「ありがとう」と言ったり、言ってもらえるって、すてきだなあ。

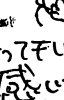
ブロッコリー

6歳Mくんと2歳Nちゃんと保育士のうんでお弁当。Mくんと保育士のお弁当にはふたりともブロッコリーが入っていて、パクっと食べ終りました。
Nちゃんはブロッコリーが大好きだったようで、「ブロッコリー」「ブロッコリー」と何回も言い出しました。するとMくん、本当にすまなさそうな表情になり「食べちゃったよ。好きだって分からなかったんだもん。」とうつむきやきました。私とは全然違う、優しさの深さを、教えられた気がしました。



1歳Oくんは今日がそれぬのはるっこ。
玄関で「ママ（のとうん）行く」と泣いています。
保育士の「お仕事終ったらお迎えに来るよ」という説明はOくんの心には届きません。
一緒に外に出ました。
鳥が鳴いています。
Oくんは立ち止まり、しばらく鳥の声を聴いています。そして、ひとこと、
「ママ、いないね」
保育士「ママはどこ？」 Oくん「○○○（職場）」
保育士「そうだね。○○○終ったらただいまーって来るね」
Oくん「うん」 このあと、はるっこに帰り、たくさん遊びました。
しばらくしてからポツリと「（お外）さむかった」

4歳Pくんと1歳Qくんに、保育士が「これから2歳Rくんくるよ」と言うと、ふたりは「Rくん?!」と大喜び。あとから来たRくんは玄関で待ち構えていたふたりに「Rくーん」と迎えられ満面の笑顔に。はるっこという非日常の空間でこのような子どもどうしのつながりが生まれるとは思ってもいませんでした。何より子どもどうしお互いのすばらしい魅力を感じあってるすてきな光景でした♪



せいこ 読んでくださりありがとう!!!